

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公表番号】特表2013-544694(P2013-544694A)

【公表日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-068

【出願番号】特願2013-532127(P2013-532127)

【国際特許分類】

B 6 0 K 26/04 (2006.01)

F 0 2 D 11/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 26/04

F 0 2 D 11/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月28日(2014.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペダル戻しばね(2)の戻し力(Fress)に対抗してペダル板(1)のスタート位置に対して、対応する作動力で生じさせるペダル板(1)の位置変化が、自動車の駆動モータの駆動力を増大させ、前記ペダル戻しばね(2)の作動力が減少したときに、前記ペダル戻しばね(2)の前記戻し力が前記ペダル板(1)をそのスタート位置の方向に後退させ、外部から作動可能な電気機械アクチュエータ(4)が、前記ペダル板(1)に作用する追加の戻し力(Fadd)を設定可能に配置される、自動車用アクセルペダルユニットを作動する方法であって、

全ペダルストローク(S)にわたって、電気機械アクチュエータ(4)に対する設定値電流要求(Isetp)と前記追加の戻し力(Fadd)との間に直線的関係が実現するように、前記特性要因図(14)を使用して、較正工程を実行し、

前記ペダル板(1)の踏み領域に配置されている力測定ピックアップ(13)を用いて、前記電気機械アクチュエータ(4)で形成される前記追加の戻し力(Fadd)を測定することによって、前記特性要因図(14)を決定することを特徴とする方法。

【請求項2】

a. 前記電気機械アクチュエータ(4)のそれぞれの角度位置()で、所定の設定値電流要求(Isetp)のために、前記追加の戻し力(Fadd, setp)の一定値を生成し、

b. 前記電気機械アクチュエータ(4)の前記角度位置()及び前記設定値電流要求(Isetp)を、制御ユニット(10)から前記特性要因図(14)に供給し、

c. 前記特性要因図からの出力値(Kout)を、次に、較正された設定値電流要求(Icorr)を得るために、前記設定値電流要求(Isetp)で乗算することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記角度位置()の値を前記特性要因図に供給する前に、前記電気機械アクチュエータ(4)の前記角度位置()を限定することを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記較正された設定値電流要求 (I_{corr}) を、他の特性曲線に供給することを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記較正された設定値電流要求 (I_{corr}) に較正係数を追加することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。